

馬の並びをいへるにて、醉は醉象なり、獅は獅子なり、犬は狛犬なり、奔王はすなはち奔王、歩は歩兵なり、是より下香反驢馬飛車歩といふにいたりて、王座より下半面の駒だてなり、釣行龍龍角堅行は、王座の上、奔王の右にある釣行なり、龍々は龍王龍馬なり、角堅行は角行堅行なり、其次は横飛横行右飛車なり、是より瓦將石將士將香といふに至り、王座より上半面の馬立終る、尙圖を見てさとりべし。

○按ズルニ、本書此次ニ摩訶大々象棋圖式摩訶大々象棋馬行方ノ圖ヲ載セタリ、今之ヲ省略ス。

泰將棋

〔男重寶記〕盤上の事

大將棋おとしごま馬數たてよこ各二十五目、
馬數三百五十四枚、

〔大象棋絹篩〕泰象棋 縦横各廿 馬數三百五十有四

泰象棋もと大象棋に作る、大音泰、清てこれを唱ふ、およそ大の字、濁音は大小の大なり、清音は無上の義にして、この上なしといふこゝろなり、されば泰象棋とはいふなり、今之はらく音を借て泰の字を用ゆ、大象棋と混はん事を恐れてなり、或人問ふ、何ぞみだりに字を改むるや、答ふ、象棋を將戲に作る事久し、泰象棋何の子細あらん。

○按ズルニ、本書此次ニ無上泰象棋圖式泰象棋馬行方ノ圖ヲ載セタリ、今之ヲ省略ス。

廣將棋

〔先哲叢談〕物茂卿名雙松、有所避以字行、荻生氏、小字總右衛門、號徂徠。

創造一家象棋、以寓兵機、名廣象棋、其子百八十局、則用棋局、而陣列軍伍、攻擊守備、無一不備焉、可謂工極矣、嗟超群儒、建大業、又有何餘力、而及此等之事也、片山兼山、乃序廣象棋譜曰、命世之人、雖缺掌拮据之際、胸中別有悠悠、閑日月而優爲之、信哉。

〔廣象棋譜〕古象棋、以致兵制也、然太簡淡、似無味、温公七國錯雜、弗專、此方廼有大小摩訶諸戲、亦鄙陋